
心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する
実態調査結果（都道府県 MC 協議会票）

速 報 版

平成 30 年 9 月
総務省 消防庁

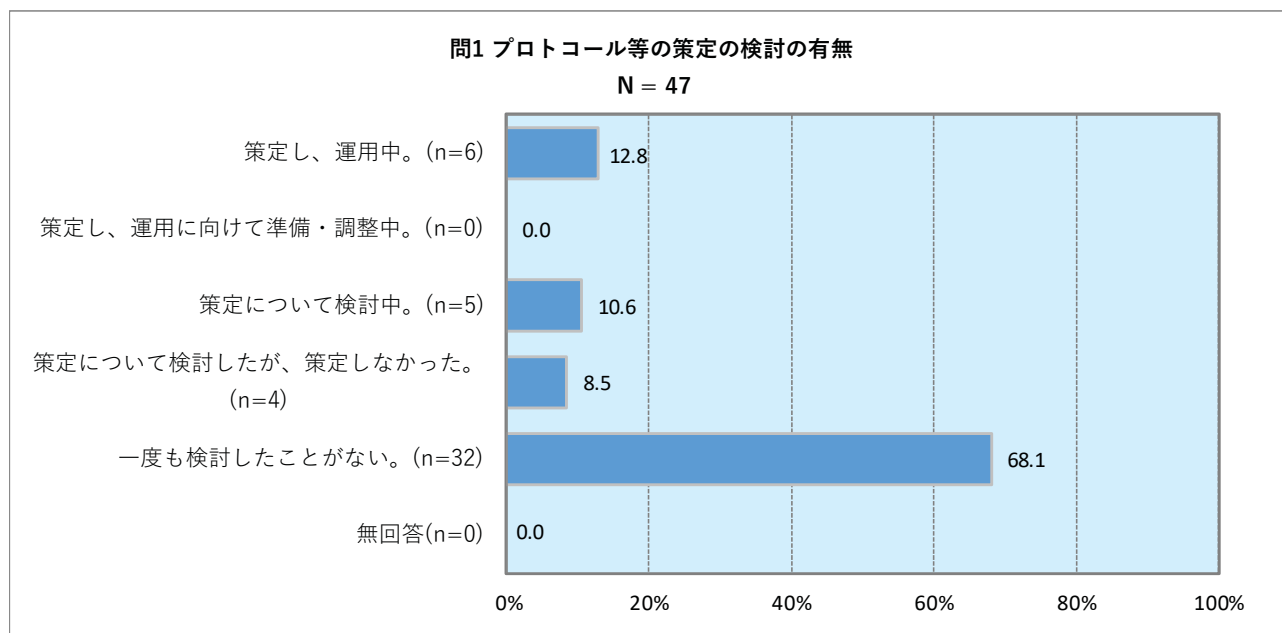
目 次

問 1 プロトコール等の策定の検討の有無（単一回答）	1
副問 1 策定を検討開始したきっかけ（自由回答形式）	1
副問 2 検討したが、策定しなかった理由（自由回答形式）	2
副問 3 検討したことがない理由（自由回答形式）	2
問 2 検討した（している）際の協議メンバー内の在宅医等の医療関係者の有無（単一回答）	3

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・本文中の「単一回答」、「自由回答形式」は以下の略称となります。
 - 単一回答: 選択肢のなかから1つを選択
 - 自由回答形式: 文字や数値を回答欄に記述
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- ・8月 31 日までに回収した 47 団体の回答結果を「速報版」として集計しています。

問1 プロトコール等の策定の検討の有無（単一回答）

○プロトコール等の策定の検討の有無は、「一度も検討したことがない。」が最多で 68.1%（32 団体）、次いで「策定し、運用中。」が 12.8%（6 団体）、「策定について検討中。」が 10.6%（5 団体）となっています。



副問1 策定を検討開始したきっかけ（自由回答形式）

○策定を開始したきっかけの具体的な内容は以下の通りです。

【日本臨床救急医学会の提言を受けて】 3 件

【事案があったため】

- ・ DNAR の希望がある傷病者がおり、今後の救急事案の対応について、部会で取り上げたため。

【全国的に議論されてきたことを受けて】 2 件

- ・ 心肺蘇生処置を望まない事案が実際に発生していること、全国的に議論される機会が増えたことなどを考慮

【不明】 3 件

- ・ 十数年前のこととなり、詳細は不明。

【その他】

- ・ 当時の策定担当医師が医療現場での考え方をそのまま取り入れたものと伺っています。
- ・ あり方検討会等の結果を踏まえて、策定について検討する。
- ・ DNAR 問題をきっかけに本県でも策定を検討する必要があると思料
- ・ 県の MC 協議会で、心肺蘇生を拒否する事例への対応について、話が出たことがある。
- ・ 地区 MC 協議会からの議題提案

副問2 検討したが、策定しなかった理由（自由回答形式）

○検討したが、策定しなかった理由の具体的な内容は以下の通りです。

- ・ 社会的にも大きな課題と認識し、県 MC 協議会において、地域全体でコンセンサスを得たうえで進めることが重要。結論を急がず、状況を見ながら継続審議していくこととした。
- ・ 「救急業務のあり方に関する検討会」の答申を踏まえて再度検討することとした。
- ・ 時期尚早と判断したため。
- ・ プロトコールの作成については各地域 MC 協議会で行っているため、県では策定していない。

副問3 検討したことがない理由（自由回答形式）

○検討したことがない理由の具体的な内容は以下の通りです。

【国等からの指針が示されていないため】 10件

- ・ 国の指針等が示されていないため。
- ・ 国が統一的な見解を示すべき課題と考えているため、本県独自の統一的な対応方針は定めておらず、各地域 MC・消防本部の方針に任せている。
- ・ 標準的なプロトコールが示されていないため。

【議題としてあがったことがない】 6件

- ・ 会議等の議題に挙げたことがないため。
- ・ 検討の契機となる問題等がないため。

【各地域に任されている】 5件

- ・ 各消防本部、各地域の実情による判断に任せているため。
- ・ 本県ではプロトコールを地域 MC 協議会ごとに作成しており、一義的に各協議会の考えを優先しているため。

【法的な整備ができていないため】 4件

- ・ 消防関係法令や救急業務実施基準等において、本件に合致する解釈等が存在しないため、プロトコール作成又は検討するに至っていない現況にある。

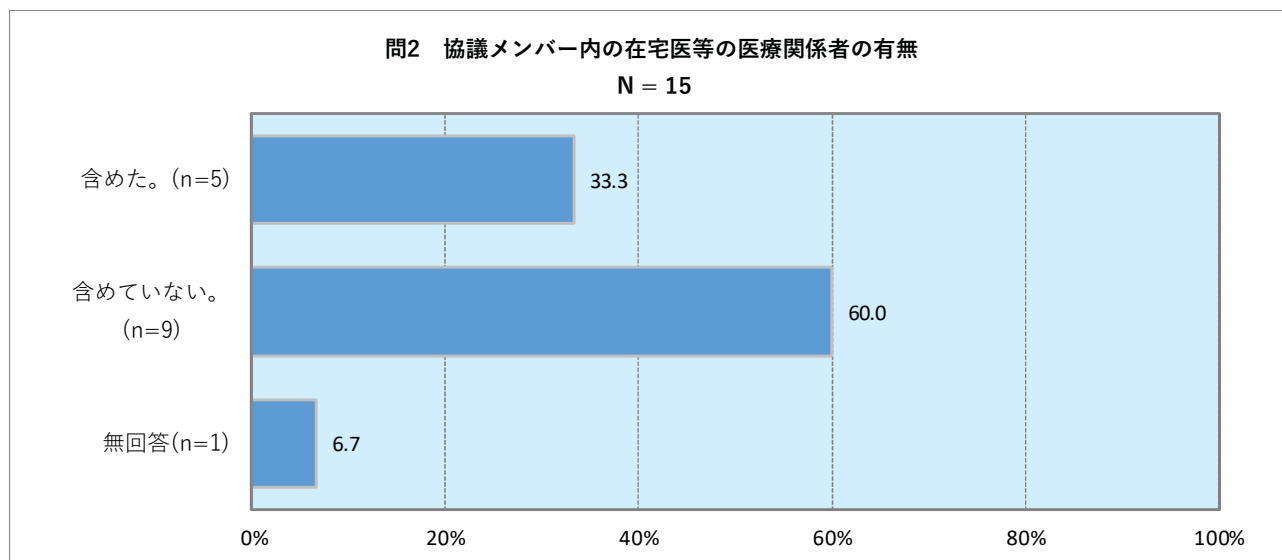
【その他】

- ・ 全国の動向を確認し、必要に応じて検討をしていくこととしているため。
- ・ 本県内でも以前からこの課題はありますが、まず消防行政としてどう取り扱うべきかの議論や考え方が示される必要があると考えます。各地域のメディカルコントロール協議会では学会の指針等を参考として手順については検討できますが、行政としての救急業務の考え方までを検討する場にはなっていません。
- ・ 今後、県 MC 協議会の場で DNAR について議論していく予定である。
- ・ 非常に繊細な内容であり、ルール作りのために多くの手順を踏まえる必要がある。また、家族のあり方もさまざまであり、家族の範囲をどこまで想定するかという課題もあり、検討の着手にあたっては社会的な要請など、一定の環境が整ったうえで着手すべきと考えられるため。

- ・ 県内の救急事務担当者の連絡会において、議題としたいとの意見があった。今後県内での件数を把握した上で議題としていく予定。

問2 検討した（している）際の協議メンバー内の在宅医等の医療関係者の有無（単一回答）

○協議メンバー内の在宅医等の医療関係者の有無は、「含めた。」が 33.3%（5 団体）、「含めていない。」が 60.0%（9 団体）となっています。



都道府県MC協議会票

心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査

※緑色のセルの部分に回答を入力してください。

※設問中、特に指定がない場合は、原則「平成30年7月1日時点」の状況をご回答ください。

※事務局を合同で運営している場合は、両機関名をご回答ください。

貴MC協議会の名称		事務局運営機関の名称	
会長の所属機関		事務局運営機関の担当者氏名	
会長の役職		事務局運営機関の電話番号	
会長のお名前		事務局運営機関のメールアドレス	

<傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、家族等から伝えられた場合における対応について、以下の質問にご回答ください。>

問1 貴協議会では、今までに家族等から傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、家族等から伝えられた場合に用いられるプロトコル等の策定を検討しましたか。1つ選んでください。

1. 策定し、運用中。 →副問1へ
2. 策定し、運用に向けて準備・調整中。 →副問1へ
3. 策定について検討中。 →副問1へ
4. 策定について検討したが、策定しなかった。 →副問1と副問2へ
5. 一度も検討したことがない。 →副問3へ

回答	
----	--

副問1 問1で「1. 策定し、運用中。」、「2. 策定し、運用に向けて準備・調整中。」、「3. 策定について検討中。」、「4. 策定について検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。策定を検討開始したきっかけについて、ご記入ください。（自由記載）

回答	
----	--

副問2 問1で「4. 策定について検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。策定しなかった理由について、ご記入ください。（自由記載）

回答	
----	--

副問3 問1で「5. 一度も検討したことがない。」を選択した方に伺います。これまで検討をしたことがない理由について、ご記入ください。（自由記載）

回答	
----	--

問2 問1で「1. 策定し、運用中。」、「2. 策定し、運用に向けて準備・調整中。」、「3. 策定について検討中。」、「4. 策定について検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。

協議するメンバーに在宅医等の医療関係者を含めましたか。1つ選んでください。

1. 含めた。
2. 含めていない。

回答	
----	--

アンケートは以上になります。
検討部会の検討に活用させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。